

中期経営計画を 次なる成長ステージへの架け橋とします

日頃よりセブン銀行をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

セブン銀行は2001年の設立以来、「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」使えるATMサービスの提供に努めてまいりました。おかげさまで2016年度には、国内ATM設置台数が23,000台を超え、1日約220万人のお客さまにご利用いただいております。

近年は、スマートフォンの普及、新しい決済サービスの登場、お客さまのライフスタイルの変化など、当社を取り巻く事業環境は転換期を迎えています。

こうした環境変化を踏まえ、当社は3カ年の中期経営計画を公表いたしました。これまでATMサービスを柱として事業を展開してきましたが、今後は本業であるATMサービスを着実に伸ばしつつ事業の多角化を図ります。この3年間は次なる成長ステージへの架け橋であると考えており、計画達成に向けしっかりと取り組むことで、新たな成長ステージを確固たるものにしてまいります。

社会インフラであるATMサービスを提供する当社にとって、お客さまへ安全かつ効率的な決済インフラを提供し続けることが重要な責任だと考えています。これからも社会課題の解決と企業の成長を両立させる方針のもと、すべてのお客さまにとって安心・安全なサービスをお届けすることに誠実に取り組んでまいります。

ステークホルダーの皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年7月



代表取締役会長
安齋 隆



代表取締役社長
二子石 謙輔